

第12章 自由意見まとめ

(1)

障がいや病気を理由に不快や不便を感じた時はどんな時ですか

【本人用（A1）・家族用（A2）に関する部分】

1. 教育を受けるとき

- ・発達障がいは見た目ではわからないため学校の担任の先生は健常者と同じ理解力を求めてくる（A1）
- ・特別支援学級の教員すら障がいの知識に乏しく適切な対応や支援が受けられず不登校になった（A1）
- ・勉強についていけない（A1）
- ・職員によって情報が異なるため統一性がない（A1）
- ・習字障がいを教育委員会の方に理解してもらえなかった（A1）
- ・特別支援学級の教員の数が足りず十分に学ぶことができない（A1）
- ・支援学校の入学を断られた（A1）
- ・小学校で担任から何度も不適切な対応を受け不登校になった（A2）
- ・てんかん発作があることを理由に「対応できる者がいない」と幼稚園や保育園への入園を断られた（A2）
- ・前例がないことや人員不足により保育園の見学を断られた（A2）
- ・身体障がいのある子の高校進学先がなく支援学校に行くのが当然と考えられていることが不快（A2）
- ・体育の授業のとき周りの子と同じように取り組む事ができないため歩行練習やマット運動をしているが評価を低くつけられること（A2）
- ・地域で決められた支援学校しかなくその学校も重度の子どものケアで手一杯であり、中程度の子どもが満足できるような教育はできないと言われた（A2）
- ・学校で障がいに対する理解がされていないためクラスの子から障がいの特性の部分を指摘され笑われていた（A2）

2. 働こうとした時、働いている時

- ・アルバイトの面接で精神疾患を理由に不採用になった（A1）
- ・仕事の採用時に障がいを理由に給与水準を下げられた（A1）
- ・障がいがあっても働ける職場だったが上司が変わった途端障がいを理由に嫌がらせを受け退職した（A1）
- ・特例子会社ではない職場では障がいの理解を得るのは難しい（A1）
- ・特例子会社でも障がいに対する理解は健常者である上層部や上司から得られていないと感じる（A1）
- ・会議等で話が聞きとれず行かなくなった（A1）
- ・A型事業所を利用しているが障がいに対する理解がない（A1）
- ・耳が聞こえにくいことで電話に出られない（A2）
- ・衝動性や多動、注意欠陥により失敗が人より多くなるが仕事などで受け入れられにくい（A2）
- ・正社員で介護の時短勤務を取得しているが法的に介護の時短勤務は3年以内とあり3年超えると規定通りの8時間勤務しなくてはならず退職するしかない（A2）
- ・半年ハローワークに通いつめ障がい者合同就職面接会に何度も通ったが就職できなかった（A2）
- ・職場でのいじめ（A2）

3. 趣味・スポーツなどの活動をする時

- ・スポーツクラブのコーチに気持ちの切り替えが難しく他の子の迷惑にもなると利用継続を断られた (A1)
- ・スイミングスクールで体験後に療育手帳を所持していることを理由に入会を断られた (A1)
- ・聴覚に障がいがあるため習い事のとときに口答での説明は理解できない (A1)
- ・障がい者スポーツセンターは土日や長期休みは人が多くなるため利用時間をずらして利用している (A1)
- ・健常児のような動作が難しいため鬼ごっこや縄跳びなどできない遊びのときに仲間に入れない (A2)
- ・音楽教室、体操教室の体験で落ち着きのないことを理由に入会を断られた (A2)
- ・独り言や人とのコミュニケーションが困難なため自宅以外の居場所づくりができない (A2)
- ・スポーツをする機会が健常児に比べて少ない (A2)

4. 公共交通機関を利用する時

- ・公共の駅(地下鉄)のエレベーターやエスカレーターが少なく、また遠いため不便である (A1)
- ・市バスでの無料乗車券の利用時に無視をされた (A1)
- ・地下鉄の優先座席の前でヘルプマークをつけているにもかかわらず席を譲られたことがあまりない (A1)
- ・公共交通機関で無人改札が増えているためヘルパーが同行するとき改札を通り抜けられず困る (A1)
- ・通勤途中に起きた事故を知らせるアナウンスが聞こえないため不便 (A1)
- ・無料乗車証をICカードにしてほしい (A1)
- ・地下鉄の割引証は毎回証明書をもち歩かねばならず現金支払い且つ券売機での購入が必要なため不便 (A1)
- ・電車利用のとき障がい者割引を駅員さんに見せないと改札を通過できないのが不便 (A2)
- ・タクシーに乗車拒否される(車いす使用) (A2)
- ・視覚障がいがあるため看板や案内が見えにくく目的地にたどりつけない (A2)
- ・介護人付無料乗車証を利用のときあからさまに嫌な顔をする駅員やバスの運転手がいる (A2)
- ・障がい者割引切符の購入の仕方が駅によって異なる (A2)
- ・駅の改札口が無人の場合で窓口対応はスピーカー越しにやりとりするがその声が聞き取りづらい (A2)

5. 公共施設(建物・道路・公園など)を利用する時

- ・放置自転車やプランターなどが道路に置いてあり危険 (A1)
- ・音が鳴る信号機が少なく困っている (A1)
- ・歩道が整備されておらず歩きにくい (A1)
- ・障がい者用トイレが少ない (A1)
- ・障がい者用駐車区画に普通の車が停車していることが多い (A1)
- ・視覚に障がいがあるため夜道路を歩くとき縁石や段などが見えない (A2)
- ・車イスで出かけるとき道路が整備されておらず力が必要 (A2)
- ・エレベーターが小さい施設が多く車いす利用時は狭く不便 (A2)
- ・公共施設が古くエレベーターがない (A2)
- ・階段のデザインによって段差が見えづらく危険 (A2)
- ・公共施設を利用するときにコミュニケーションがうまくとれず冷ややかな目で見られる (A2)
- ・おむつ替えスペース(2才以上)が少ない (A2)

6. 市役所や区役所などを利用する時
<ul style="list-style-type: none"> ・区役所でたらい回しにされた (A1) ・障がい者手帳を申請するとき保険証の内容が必要だと言われ不便だったためマイナンバーで手続きできるようにしてほしい (A1) ・聴覚障がい者のため呼ばれる際は番号の表示を強化 (A1) ・市役所への問い合わせが電話のみで不便 (A1) ・遠くて不便 (A2) ・区役所や医療機関は全体的に文字が小さく見づらい (A2) ・代筆、代理での手続きのとき本人の自筆の委任状が必要と言われた (A2) ・市役所や区役所での車いすやシルバーカーは道幅の問題もあり利用しづらい (A2) ・横のつながりが弱い (A2)
7. 福祉サービスを利用する時
<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器申請するとき両耳の申請ができず自己負担が大きい (A1) ・現在どのような福祉的なサービスが受けられるか理解することが難しい (A1) ・学校に属していないと放課後デイなどのサービスが受けられない (A1) ・視覚障がいだとスタッフが見守りきれないため危ないと入所を断られる (A1) ・長期休暇中に朝早くから預ける場所がない (A2) ・ヘルパーやショートステイを希望しても障がいのある本人が拒否すれば利用したくてもできない (A2) ・通所施設は基本的に母子通園が多く、またデリハビリに特化した療育施設がない (A2)
8. 医療機関を利用する時
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の不安から叫んだり暴れたりする行動に周りの目も気になり受診をためらう場合がある (A1) ・聞こえないため呼ばれる際は番号の表示を強化 (A1) ・病状を伝えたいが理解してもらえない (A1) ・医療関係の人でも障がい特性の理解が得られにくい (A1) ・病院で泣き、暴れるため処置を断られたことがある (A1) ・クリニックなど、小規模の病院は断られる (A1) ・特に医療機関ではマスクをつけているため医師や看護師との直接の会話が難しい (A2) ・受付やフリースペースで子どもが遊べる場所や順番がくる直前に呼びだしがあれば負担が減る (A2) ・病院の同行(移動・診察時)にヘルパーが同行できない (A2) ・障がい者専用の医療機関があればよい (A2) ・発達障がいのLDの検査を受けたいが精神科の予約が取れず検査が受けられない (A2)
9. 必要な情報を探したり情報提供を受ける時
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人はまず支援制度やサービスがあることに気づけない (A1) ・視覚的情報が手に入りにくい (A1) ・必要な情報をどこで知るかわからない (A1) ・施設やサービスや地域連携等の情報が手に入らず各個人で調べるにも情報が不足している (A2) ・役所も冊子を渡して自分で調べることを勧めてくる (A2) ・受け入れてもらえる医療機関や福祉サービスの情報が無い (A2) ・そもそも福祉サービスについてある程度の知識を持っていないとその支援に行き着けない (A2)

10. 住宅の購入または住宅に入居する時
<ul style="list-style-type: none"> ・転居先を探しているときに精神疾患がある方は入居できないと言われた (A1) ・団信に入れない (A1) ・引っ越しを考えているがバリアフリーがなかなかない (A2)
11. 政治活動や選挙に参加する時
<ul style="list-style-type: none"> ・選挙演説に手話通訳や文字通訳がなく公平な情報がない (A1) ・投票所の記入機の高さが車いすでは書きにくい (A1) ・選挙参加時選管に家族の介助を止められ投票できなかった (A1) ・選挙の投票に行ったとき手順がわからずに困っていたためサポートしようとしたら止められた (A2)
12. 家族や周囲の人の理解を得ようとする時
<ul style="list-style-type: none"> ・多動や奇声を好奇の目で見られる (A1) ・内部疾患のため辛さが伝わらない (A1) ・先生や友人のからかいがある (A1) ・公共交通機関で奇声を発した際の周囲の乗客の理解が得られにくい (A1) ・家族・親戚や医療従事者に障がいの特性をよく理解してもらえず不適切な対応をされる (A1) ・家族に障がいを理解する気がないため精神的負担やハラスメント回避に費やす時間・労力が辛い (A1) ・多動や奇声等を抑えきれないとき親の教育が悪いと言われる (A2) ・見た目でも障がいの特性が分かりづらいこともあり理解を得ることは難しい (A2) ・聴覚障がいでも口の動きから話者の話している内容を理解したいが話者がマスクを外してくれない (A2) ・会話の意思疎通が難しく一度で話のやり取りがなかなかできない (A2) ・読み書きの障がいは理解されづらい (A2) ・統合失調症の理解がなく長期入院になっている現状を非難する空気があるため辛い (A2) ・知的障がいがあるため今後通院や区役所等の制度手続きや更新等ができるか、自分の言葉で伝えられるか心配 (A2)
13. 買い物や外食などをする時
<ul style="list-style-type: none"> ・階段が多く店中が狭いため車いすのまま入れない (A1) ・買い物や外食で障がい者割引の適用を受けられる場面に気づかず見逃すことがある (A1) ・相手の言うことが咀嚼できず会話が成り立たない (A1) ・タブレット端末での注文が視覚的に難しい (A1) ・セルフレジや注文などのタッチパネルが使用できないため店員の協力を得ようとしても受けられない場合が度々ある (A1) ・注文番号が聞き取れない (A2) ・苦手な音や声があることを飲食店や商業施設で周囲の人に理解してもらおうのが難しい (A2) ・買い物時子どもが興奮して叫んでしまった際に他の方からクレームが入ったため退店させられた (A2) ・外食時にエレベーターが無く店の環境で車イスが入れない所がよくある (A2) ・障がい者がひと目見て提示割引があると判断できるシールをお店に配布してほしい (A2)
14. その他
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを知って近寄って来る人は宗教に勧誘する人が多くて親が困っていた (A1) ・差別的な書籍が発売されたり炎上ビジネスに使われたり SNS などで発達障がい者の存在に言及する意見を見ない日はない (A1) ・日常的な生活を送る上で問題のないことにも鋭敏に気にしたり、安を感じたりして行動に支障をきたしてしまう (A1) ・自分の困っている事など自分の事をうまく言葉で言い表す事が苦手 (A2) ・傷つくことを言われる (A2) ・今後、本人が成人した際に預金取引(日常に必要な出金)の対応方法が成年後見制度以外に思い当たらない (A2)

自由記述カテゴリ別集計

(2) 災害時の備えについて困っていることや不安なことの自由記述

カテゴリ		E	F	G
		難病	小児慢性	医療的ケア児
n		396	56	56
1	備蓄等の備えについて	39.5	16.9	31.1
2	避難方法について	18.4	13.5	37.8
3	避難所について	15.8	6.7	24.3
4	医療について	9.2	48.3	21.6
5	周りの協力について	5.3	5.6	8.1
6	住まいの場・ライフラインについて	-	22.5	4.1
7	その他	17.1	14.6	6.8

1. 備蓄等の備えについて
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所ですぐに難病指定薬が手に入るか不安 (E) ・水、食料(長期保存)を用意するのは金銭的に厳しいためせめて年1回ぐらいの支給がほしい (E) ・食事療法と定期投薬(点滴)の遠方への通院を含めた継続可能性が気になる (E) ・薬のストックと、トイレなどの衛生面の確保が心配 (F) ・投薬が必要なため水の確保が課題 (F) ・避難が必要となったとき子どもの医療ケア栄養剤などの必要物品だけで持てる荷物の上限となり自らの物を持ち出せない (G) ・電子機器を多く使用しているため電源の確保ができるか不安 (G)
2. 避難方法について
<ul style="list-style-type: none"> ・1人のときに災害が起きた場合動くことができない (E) ・自身も家族も身体に痛みを持つ疾患があり重い物を持って遠くまで歩けないなどの問題がある (E) ・荷物が通常の災害用の物に加えて医ケア用品もあり運ぶことが困難 (F) ・車いすのためエレベーターが止まると避難できない (F) ・デイや学校にいて親の近くにいない場合の避難場所方法が確立されていない (G) ・自力歩行ができないため避難場所への移動や避難先の階段の昇降が不安 (G)
3. 避難所について
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの回数が多いためいつでも利用できるトイレが多くあってほしい (E) ・避難場所がわかりにくい (E) ・子どもがパニックになったときどういう行動をとるかわからず不安 (F) ・安全に過ごせるスペースの確保ができるか不安 (F) ・体温調整が苦手なため空調の効いたスペースを確保できるか心配 (G) ・医療的ケアの支援ができて医療機器の電源確保が可能な福祉避難所の情報がなく災害時に避難可能な場所がない (G) ・痲癢を起こして暴れてしまうため避難所には行けない (G)

4. 医療について

- ・ 4週に1回自己接種する冷所保存が必須の医薬品を使っているため災害時の冷所の確保、また物流の確保ができるのか懸念事項（E）
- ・ 朝夕服薬中のため医薬品確保が心配（F）
- ・ インスリン補充が常時必要（F）
- ・ 冷蔵保存の薬なため不安（F）
- ・ 呼吸器があるため電気が止まると命に関わる（G）
- ・ 寝たきりで医療機器も複数必要なため避難が難しい（G）

5. 周りの協力について

- ・ 障がい者や高齢者の数に対して職員の人数が少ないため災害時が不安（E）
- ・ 周りの人から嫌がられ、差別されないか心配（F）
- ・ 親がいない場所での災害時ヘルプ要請が自身でできないため不安（F）
- ・ 病気だとわからないため気づいてもらえるのか、理解がされるかが心配（F）
- ・ エレベーターが止まると車イスの子を連れて避難できなくなるため自宅へ物資が届くような支援も検討してほしい（G）

6. 住まいの場・ライフラインについて

- ・ 自己注射の薬剤は冷蔵庫保管が必要なため災害時の停電などで冷蔵庫が使用できなくなると困る（F）
- ・ 医療機器には停電時に自動的にバッテリーモードに切り替わる設定があるものもないものがあり8時間以上の停電となると不安（F）
- ・ 体温調節が難しいためライフラインが使えない場合は不安（F）
- ・ 酸素吸引に電気を使う他食事もペースト食のため緊急時の不安（G）
- ・ 知らない場所にどれくらい滞在するのか見通しが立たないため避難せず自宅にとどまる選択を検討（G）

7. その他

- ・ 世帯に複数人介助者が必要なため災害がおきても家からは出られない（E）
- ・ 家で過ごすための準備はしているが電気等が通じない場合が不安（E）
- ・ この地域に同じような病気の人が少なく災害時のパニック状態で情報が得られなくなることが不安（F）
- ・ 出血が止まりにくい疾病のため災害時は特に怪我をしないようにするための予防策が必要（F）
- ・ 食が細く、偏食気味なため災害時の食事が心配（F）
- ・ 避難支援プラン作成のために情報を提供しているが作成・修正されたものを確認したことがないため災害時における行政の支援計画を教えてほしい（G）
- ・ 在学中の学校が立地、建物、設備の老朽化等から見てとても災害時に避難できる場所ではない（G）

(3)

障がい者施策全般についての自由記述

自由記述カテゴリ別集計

カテゴリ		A1	A2	C	D1	E	F	G	H	B	D2
		本人用	家族用	発達	施設入所者	難病	小児慢性	医療的ケア児	精神科病院 入院者用	事業者	入所施設管理 者
n		689	518	75	30	65	56	56	21	243	11
1	啓発・広報	4.5	9.7	10.7	6.7	4.6	16.1	1.8	-	-	-
2	ヘルプマークについて	1.9	0.6	-	-	4.6	-	-	-	-	-
3	情報・コミュニケーション	6.8	14.0	9.3	-	3.1	7.1	8.9	-	-	-
4	権利擁護・相談支援	18.9	9.3	16.0	6.7	16.9	16.1	3.6	14.3	-	-
5	生活支援	8.7	10.2	13.3	16.7	18.5	26.8	17.9	-	-	-
6	金銭的援助	12.8	10.9	12.0	3.3	24.6	-	19.6	4.8	-	-
7	スポーツ・文化活動等施設	2.0	0.8	-	3.3	1.5	-	-	-	-	-
8	保育・教育	1.3	6.5	28.0	3.3	3.1	14.3	7.1	-	-	-
9	就業	6.8	3.0	6.7	3.3	9.2	5.4	8.9	14.3	-	-
10	生活環境	11.3	2.8	12.0	10.0	-	5.4	10.7	-	-	-
11	公共交通機関/道路	12.3	4.7	6.7	-	10.8	8.9	8.9	-	-	-
12	安全・安心	3.0	3.7	1.3	-	10.8	3.6	3.6	4.8	-	-
13	将来の不安	3.8	8.9	14.7	6.7	3.1	-	16.1	-	-	-
14	保健・医療	11.8	3.6	2.7	6.7	13.8	28.6	10.7	14.3	-	-
15	福祉サービス/施設について	13.4	12.6	37.3	43.3	12.3	17.9	42.9	33.3	-	-
16	障がい者に対する健常者の知識、 認識について	8.4	15.1	20.0	10.0	6.2	8.9	5.4	-	-	-
17	アンケートについて	6.7	2.5	1.3	3.3	6.2	1.8	3.6	-	-	-
18	その他	6.5	9.1	4.0	16.7	10.8	3.6	10.7	19.0	-	-
19	制度について	-	-	-	-	-	-	-	-	20.6	27.3
20	報酬、運営等について	-	-	-	-	-	-	-	-	27.2	45.5
21	啓発・広報について	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-
22	業務内容について	-	-	-	-	-	-	-	-	12.8	18.2
23	社会参加、地域での生活について	-	-	-	-	-	-	-	-	12.8	18.2
24	障がい福祉サービスについて	-	-	-	-	-	-	-	-	15.2	18.2
25	人材の確保について	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5	54.5
26	人材の育成、スキルアップについて	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-
27	連携について	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	9.1
28	ハラスメント、虐待について	-	-	-	-	-	-	-	-	7.4	9.1
29	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-

【本人用(A1)・家族用(A2)・発達(C)・施設入所者(D1)・難病(E)・小児慢性(F)・医療的ケア児(G)・精神科病院入院者(H)に関する部分】

1. 啓発・広報
<ul style="list-style-type: none"> ・外から見えない障がいをもっている人が仕事を休みやすい社会になってほしい (A1) ・障がいによって出る症状の例を公共交通機関の掲示物やSNSに発信してほしい (A2) ・健常者が発達障がいのことを理解できるよう啓発活動に取り組んでほしい (C) ・見た目は健康なため体調不良等で休暇申請をしても会社から理解を得ることは難しい (E) ・受けられるサービスを分かりやすく開示してほしい (F)
2. ヘルプマークについて
<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発関係のキャンペーン実施しヘルプマークを広めてほしい (A1) ・ヘルプマークを悪用している人がいるため本当に助けが必要な人なのか判断しづらい (E)
3. 情報・コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ・利用できる障がい者施設や登録のある事業所を探しやすくするために一覧表などを作ってほしい (A1) ・1ヶ所で全てのサービスを知る事ができたら手間が省ける (A2) ・精神科、心療内科以外の医療各科の医師と発達障がい者とのコミュニケーションを支援する仕組みが必要 (C) ・近所付き合いが希薄なため日頃から声を掛け合えるようなコミュニティを創る (E) ・親が働けなくなったあとが心配なため対応方法など情報を知ることができるサービスを希望 (F)
4. 権利擁護・相談支援
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者保健福祉手帳の申請にかかり、適切な審査が行われているとは思えない (A1) ・FPにお金や今後の生活を相談できる機会がほしい (A1) ・相談支援専門員(児童対象)が少なく、サービス等利用計画をセルフプランで記入することになった (A2) ・相談支援事業所を探すのが難しい。リストから一軒ずつ電話しているためもう少し内容や情報開示に力を入れてほしい (C) ・障がいに限らず安心して子育てができて気軽に相談が可能な環境を整備 (F) ・スムーズに情報が得られる環境を整備 (G) ・ゆっくり話ができるカウンセリングの場を希望 (H)
5. 生活支援
<ul style="list-style-type: none"> ・クーポン券や食料品等の援助 (A1) ・所得制限があり特別児童手当やオムツの助成が受けられない状況なため所得制限の撤廃を希望 (A2) ・診断を受けて療育に行けるまでの期間が長く書類や提出物も多い (C) ・施設入所から地域へ出るには生活を守る体制がない (D1) ・仕事を休んで入院している間の生活費と子供のケア (E) ・小学校だけでなく学生のあいだは子どもの看護休暇を利用可能に (F) ・兄弟で医療的ケアが必要なため1人につききりになれず負担が大きい (G)
6. 金銭的援助
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいは軽度でも生活に不便がかなりあるため税金等の減免を希望 (A1) ・特別児童扶養手当、放課後等デイサービスの利用料など福祉サービスに関する所得制限の緩和や撤廃を希望 (A2) ・世帯収入による所得制限の撤廃を希望 (C) ・移動支援の報酬単価が低い (E) ・子どもが成人してからの医療費の助成 (F) ・介助により就労することができないため経済面の支援を強化 (G)

7. スポーツ・文化活動等施設
<ul style="list-style-type: none"> ・室内で遊べる場所を希望 (A1) ・学校などの公共の体育館が空いているときは気軽に利用したい (A1) ・就労支援を利用しながら運動ができる通所サービス等を希望 (A2)
8. 保育・教育
<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の選択肢が少ない (A1) ・学習障がいのないハンディキャップ(グレーゾーン)の子どもがいける学校が少ない (A1) ・ひきこもりの子どもについての相談や支援、過ごせる場所の確保などの充実 (A1) ・学校や塾での学習についていくことが困難なため補うことができる支援を希望 (A2) ・支援の際に専門的な人を増員 (A2) ・支援の先生を子ども1人に対し1人ずつ配置 (A2) ・軽度の発達障がいでも得手不得手があるためできない子と括られて得手が伸ばせない環境になることが怖い (C) ・歩行が困難な障がい児の保育園の入所がスムーズにできるよう整備 (E) ・医療型の児童発達支援の通所が運営できるように市で施設を守ってほしい (F) ・知的の支援学校は看護師手配条件がシビアなため市の学校と同じ待遇にしてほしい (F) ・障がい児で医療的ケアが必要なため預け先がなく就労も困難 (G)
9. 就業
<ul style="list-style-type: none"> ・特例子会社を増やしてほしい (A1) ・障がい特性に応じた就労の場の提供や障がい特性を理解した支援員がいる日中活動の場の充実 (A1) ・就労支援A型とB型の中間的な事業所がほしい (A2) ・障がいの特性に合わせた一般就労の広がりを希望 (A2) ・就労移行支援事業所は利用が2年間と定められているが就職し再びプログラムを受け努力する意思がある場合は期間の延長が可能になればよい (C) ・体調不良等を会社上司に理解してもらうことが困難 (E) ・訪問支援中にできる在宅ワークの周知 (G) ・身体が動く範囲で仕事を続けられる仕組みが必要 (H)
10. 生活環境
<ul style="list-style-type: none"> ・役所の公文書の文字が小さくて見えない (A1) ・役所の手続きの簡易化を希望 (A2) ・人や環境が理解あるものになるだけで過ごしやすさが変わる (C) ・地域で暮らせる環境の整備を強化 (D1) ・街のバリアフリーを強化 (F) ・公的な施設の増設を希望 (G)
11. 公共交通機関/道路
<ul style="list-style-type: none"> ・磁気式自動改札機が減ってきているため市内交通の運賃割引証等のIC化を希望 (A1) ・道路の段差の色分けの表示がほしい (A1) ・駅等のエレベーターの増設を希望 (A2) ・民間交通機関も交通サービスの支援に力を入れてほしい (C) ・新幹線チケットの身障割引をネットで購入できるようにマイナ保険証などDXの対応を希望 (E) ・歩道はなるべく広く平坦にしてほしい (G) ・重度障がい者用のタクシー券を複数枚の使用可能に (G)

12. 安全・安心

- ・聴力障がいがあるが近隣とのつき合いがなく災害時の不安がある（A1）
- ・見えない虐待が怖く安心して施設に預けられない（A2）
- ・災害時の個別避難計画についてどこで相談をすればよいかわからない（C）
- ・福祉避難所の設置を希望（E）
- ・重症心身ケア児については災害時の受入れ先を登録制にするなどしてあらかじめ確保できるようにしてほしい（G）

13. 将来の不安

- ・親なき後の支援の充実は切実をお願いしたい（A1）
- ・親なき後も金銭や権利などを第三者に奪われてしまわないよう防衛体制をとっておきたい（A2）
- ・障がい福祉の先行きが不透明（D1）
- ・親なき後安心して入れる療養施設が少ない（E）

14. 保健・医療

- ・難病を抱えている限り精神疾患など併発しやすいため医療費などの補助を希望（A1）
- ・障がい者本人が病気になったときに他人の目が気になり診察に行けない（A2）
- ・障がい手帳を所持している級に関係なく障がい者医療証が所持できるようにしてほしい（C）
- ・地域で暮らすには設備の整った住居や24時間体制での支援、医療体制を整えないと難しい（D1）
- ・難病で治る見込みのない病気に関しては毎年診断書をとることを見直してほしい（E）
- ・治療が終了してからのフォローアップや晩期合併症に対しての医療費助成制度が必要（F）
- ・医療行為をしてくれるショートステイの場の増設（G）
- ・状態安定しているときに退院先を探したが見つからなかった（H）

15. 福祉サービス／施設について

- ・不正受給を防ぐためにも、福祉の事業所の活動内容などをもっと公開してほしい（A1）
- ・福祉事業所のヘルパーや職員の減少（A1）
- ・無料で通えるフリースクール等近所に増やしてほしい（A1）
- ・ケアマネジャーのように施設や病院を超えてサポートしてくれる場所を希望（A2）
- ・療育（児発・放デイ）事業所がグレーゾーンや軽度の子が多く本当に必要としている（中度・重度）子が療育を受けることができている（C）
- ・施設に入所していても移動支援を支給してほしい（D1）
- ・身近に声をかけたり様子を聞いたりするシステムや人材が必要（E）
- ・成人からのショートステイを増やしてほしい（F）
- ・福祉サービスの利用負担の軽減を実施（G）

16. 障がい者に対する健常者の知識、認識について

- ・重複障がいの子どもの発達障がいの支援を併せてできる人材の充実（A1）
- ・個人によって症状が色々あると理解がほしい（A2）
- ・障がいについて配慮のない言動をする福祉関係の職員に度々あたり精神的に追い詰められて辛い思いをしたことがある（C）
- ・強度行動障がいがある方への支援の充実と理解や入所施設の職員や支援員へのメンタルケア等（D1）
- ・体調が悪化しないように自身の仕事量を調整すると他の人からは楽をしているように見える（E）
- ・就学前検診などを実施している学校は職員の障がい児への理解や配慮をすすめてほしい（F）
- ・保健福祉センター職員の知識が正確でないため手続きに不手際が多く適切にサービスを受けることができない（G）

17. アンケートについて
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容が難しい (A1) ・回答は「任意」であることを強調してほしい (D1) ・難病指定の患者だが質問は障がい者が対象の設問が殆どなためどの質問に応えればよいのか判りにくい (E) ・想像のできないような困難がたくさんあると思うため今回のようなアンケートは困り事を書きたい機会 (F) ・アンケート記入の時間確保が難しいため提出日を延長してほしい (G)
18. その他
<ul style="list-style-type: none"> ・行政や周囲に対しての援助を求めるだけでなく本人の意識の変革が重要なのではないか (A1) ・自立支援手帳の更新が毎年あるが5年に1回など長くしてほしい (A2) ・受給者証や手当等や更新の手続きはまとめて送ってほしい (G) ・役所に提出する書類の簡易化を希望 (G)

【事業者 (B)・入所施設管理者 (D2) に関する部分】

19. 制度について
<ul style="list-style-type: none"> ・費用面の支援や補助制度の充実を希望 (B) ・受給者証の更新をしても本人に届くのが遅い (B) ・現場の人材不足が深刻なため職員確保と負担軽減の施策を希望 (D2)
20. 報酬、運営等について
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の継続就労のためにも報酬単価の引き上げを希望 (B) ・B型作業所での障がい者の仕事に対する一般企業の工賃の低さ (B) ・適正な報酬となるよう市独自の仕組みの構築や国への働きかけを希望 (D2)
21. 啓発・広報について
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズが多様化しているため情報共有の機会の場を希望 (B) ・厚労省からの通知の情報や研修の案内などが届きにくい (B)
22. 業務内容について
<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理の簡易化 (B) ・移動支援の単価の見直し (B) ・業務を簡略を希望 (D2)
23. 社会参加、地域での生活について
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との意見交換や学校職員との意見交換など障がい者支援事業所と地域との交流のための支援を希望 (B) ・移行支援に対する補助を希望 (D2)
24. 障がい福祉サービスについて
<ul style="list-style-type: none"> ・本当に支援のいる人に手が届いているのか (B) ・他市に入所している方も移動支援を使えるようにしてほしい (D2)

25. 人材の確保について
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人材が働きたいと思えるような職種となるよう制度面からバックアップしてほしい（B） ・人員確保が難しい（B） ・24時間運営の入所施設のため人材確保が困難なため他産業と同水準の賃上げが必須（D2）
26. 人材の育成、スキルアップについて
<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携による専門的アプローチを可能にする体制を強化（B） ・基本報酬の引き上げを希望（B）
27. 連携について
<ul style="list-style-type: none"> ・行政と福祉事業所の「縦のつながり」や事業所同士の「横のつながり」に乏しくせつかく多くの事業所で蓄積されている事例や情報などがうまく活用できていない（B） ・障がい者支援事業所と地域との交流のための具体的な支援があればよい（B）
28. ハラスメント、虐待について
<ul style="list-style-type: none"> ・施設等による障がい者虐待の相談をしても対応が不十分である（B） ・最善を尽くしよかれと思う介護とハラスメント・虐待との曖昧な線引きが難しい（B） ・利用者による職員への暴言暴力に対しての施策が乏しい（B） ・虐待防止やハラスメント研修への参加機会の増加（B） ・入所施設の職員配置基準が低いいため十分な支援ができないところやストレスから虐待・退職をする等困難な場面が目立つ（D2）
29. その他
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が精神的に不安定な事が多いため対応が難しい（B） ・福祉局からの連絡メールの内容の簡潔化を希望（B） ・営利法人が障がい福祉サービスに多数参入しているが支援力のない事業所が多い（D2）